

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和8年6月22日(月)  
感染症対策センター  
(衛生環境研究所)

## 令和8年第19週から第22週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

今回(19週～22週)4週 (R8.5.4～R8.5.31)	前回(15週～18週)4週 (R8.4.6～R8.5.3)	前々回(11週～14週)4週 (R8.3.9～R8.4.5)
1 感染性胃腸炎 (451) [↓185]	1 感染性胃腸炎 (636)	1 インフルエンザ (1,588)
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (422) [↓120]	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (542)	2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (507)
3 新型コロナウイルス感染症 (51) [↓47]	3 インフルエンザ (132)	3 感染性胃腸炎 (383)
4 咽頭結膜熱 (24) [↑10]	4 新型コロナウイルス感染症 (98)	4 新型コロナウイルス感染症 (90)
4 RSウイルス感染症 (24) [↓31]	5 RSウイルス感染症 (55)	5 RSウイルス感染症 (26)
その他 (66) [↑6]	その他 (60)	その他 (54)
(合計 1,038)	(合計 1,523)	(合計 2,648)

※急性呼吸器感染症(ARI)定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数である。  
※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減(急性呼吸器感染症(ARI)定点の急性呼吸器感染症を除く。)

減少した疾病	
インフルエンザ	92%
RSウイルス感染症	56%
新型コロナウイルス感染症	48%
感染性胃腸炎	29%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22%

### 3 急性呼吸器感染症(ARI)※報告数

第19週から第22週の患者報告数は、5,119件であった。

※急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。

### 4 コメント

#### 【感染性胃腸炎】

ノロウイルス等による患者報告が一定数続いており、集団感染事例も頻発し、引き続き注意が必要です。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレやオムツなどの汚物処理の後や、調理、食事の前などには、手洗いを徹底しましょう。感染した人の便や吐物を処理する場合には、ゴム手袋やマスクを着用し、処理後の床や感染した人が触れた物などは、塩素系の消毒剤を使用して消毒しましょう。

### 【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、消毒、咳エチケット等の感染予防をお願いします。また、まれに A、B、G 群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行する「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」になることがあります。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する可能性があるため、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

### 【手足口病】

全国では増加傾向であり、本県でも 6 月に入り西部で集団発生事例の報告が続いています。飛沫や手指を介して感染し、便にもウイルスが排出されます。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいので、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いの徹底、換気などの感染予防をお願いします。

### 【麻疹】

現在、県内での発生はありませんが、全国では外国での感染が疑われる事例のほか、海外渡航歴のない事例も含め、患者数が過去 10 年で最多の 2019 年に迫る報告数となっています。発熱や眼の充血、全身の発疹などがある場合は、事前に医療機関に連絡の上受診しましょう。麻疹の免疫を持っているけれども不十分な人が感染した場合、症状が軽症で麻疹と気づきにくいこともあるため、注意が必要です。

予防にはワクチンの 2 回接種が有効です。定期接種（対象：1 歳児（第 1 期）、小学校就学前の 1 年間の幼児（第 2 期））は必ず受けましょう。また、2 回接種が未了の方などで、海外への渡航を予定している方、0 歳児や妊婦の同居者等を対象に、令和 8 年 4 月より保健所で無料の抗体検査を開始しました。検査により麻疹に対する免疫が十分かどうかわかります。詳しくは各保健所にご相談ください。

## 令和8年第19週～第22週の報告患者数

区 分	今回報告患者数 第19週～第22週(4週分)					前回報告患者数 第15週～第18週(4週分)				前々回報告患者数 第11週～第14週(4週分)				前回比 増 減	令和8年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	1	5	5	11	-121	41	55	36	132	664	353	571	1,588	-92%	5,666
2 新型コロナウイルス感染症	14	20	17	51	-47	13	61	24	98	44	30	16	90	-48%	703
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	16	8	0	24	10	2	10	2	14	3	6	5	14	71%	88
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	210	59	153	422	-120	269	92	181	542	248	52	207	507	-22%	2,389
5 感染性胃腸炎	264	89	98	451	-185	377	157	102	636	163	139	81	383	-29%	2,380
6 水痘	8	8	0	16	-6	8	11	3	22	3	7	4	14	-27%	93
7 手足口病	1	2	6	9	9	0	0	0	0	0	0	0	0	—	19
8 伝染性紅斑	3	0	4	7	4	0	0	3	3	2	0	5	7	133%	46
9 突発性発疹	5	2	8	15	6	2	3	4	9	3	5	3	11	67%	60
10 ヘルパンギーナ	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	—	3
11 流行性耳下腺炎	0	0	0	0	-1	0	1	0	1	0	0	0	0	-100%	2
12 RSウイルス感染症	14	0	10	24	-31	33	5	17	55	17	3	6	26	-56%	223
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
14 流行性角結膜炎	2	0	0	2	1	0	0	1	1	1	0	1	2	100%	8
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	1	0	1	2	-1	1	0	2	3	0	0	1	1	-33%	8
16 無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-2	2	0	0	2	1	0	0	1	-100%	7
17 マイコプラズマ肺炎	1	1	0	2	-1	2	1	0	3	3	1	0	4	-33%	42
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	0	0	-100%	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	-1	0	0	1	1	0	0	0	0	-100%	1

※中部の基幹定点数は小児科定点と共通のため、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)の件数は感染性胃腸炎の内数となります。

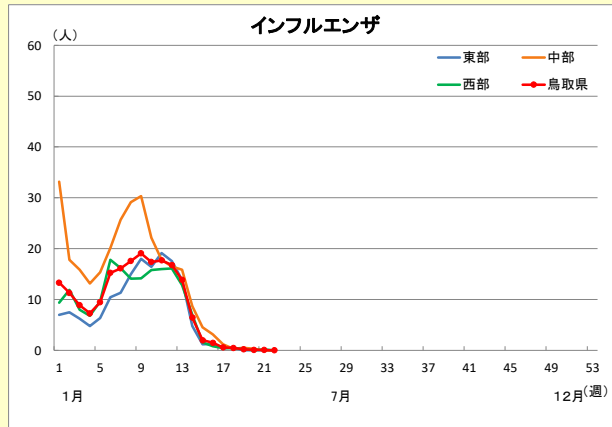
急性呼吸器感染症(ARI)定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
20 急性呼吸器感染症(ARI)	2,102	1,384	1,633	5,119	-770	2,522	1,503	1,864	5,889	2,796	1,554	2,220	6,570	-13%	34,452

※急性呼吸器感染症(ARI)の症例定義を満たし、さらに上記の他疾病で診断された場合、両方に報告されています。

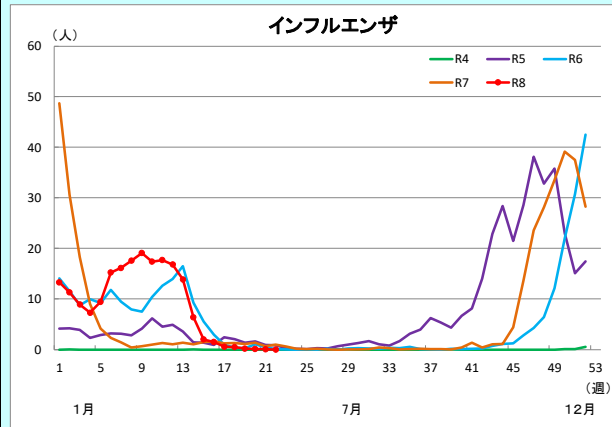
合 計	2,642	1,578	1,937	6,157	-1,255	3,273	1,899	2,240	7,412	3,948	2,150	3,120	9,218	-17%	46,191
-----	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	--------

※令和7年4月7日から急性呼吸器感染症(ARI)が追加され、「インフルエンザ/COVID-19定点」は「急性呼吸器感染症(ARI)定点」に変更されました。

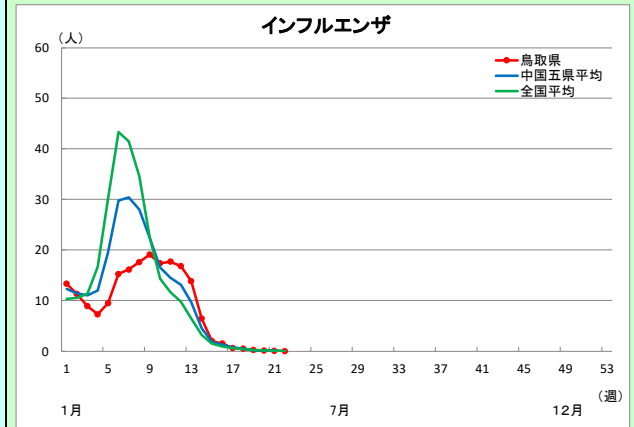
地区発生状況(定点当たり)



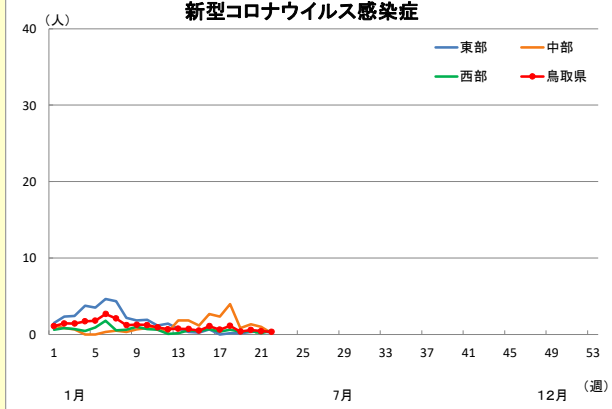
年次別発生状況(定点当たり)



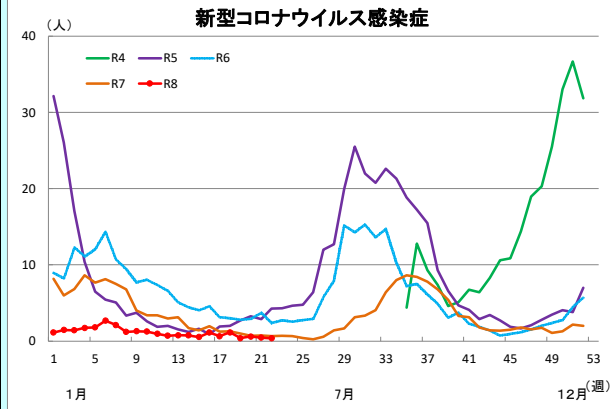
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



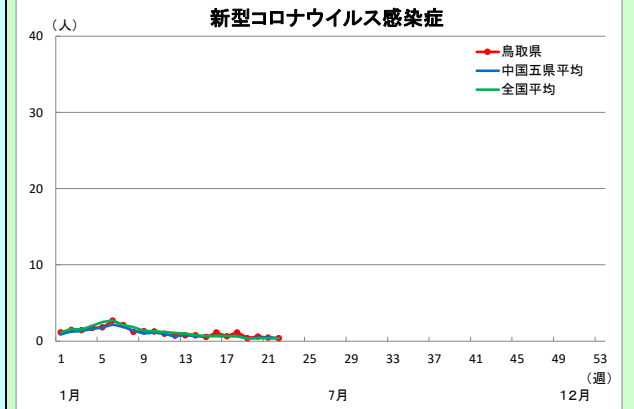
新型コロナウイルス感染症



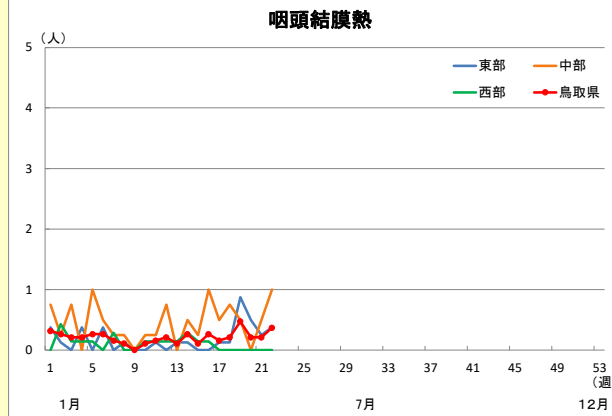
新型コロナウイルス感染症



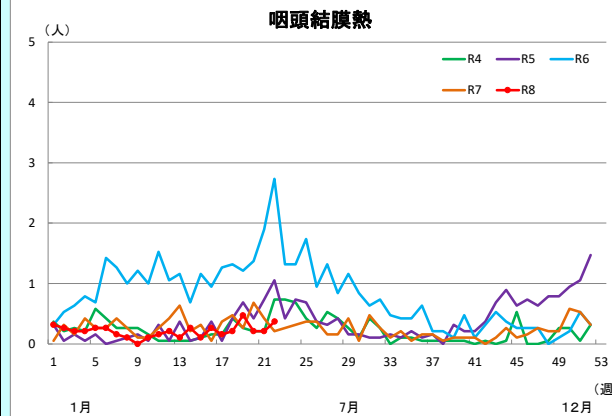
新型コロナウイルス感染症



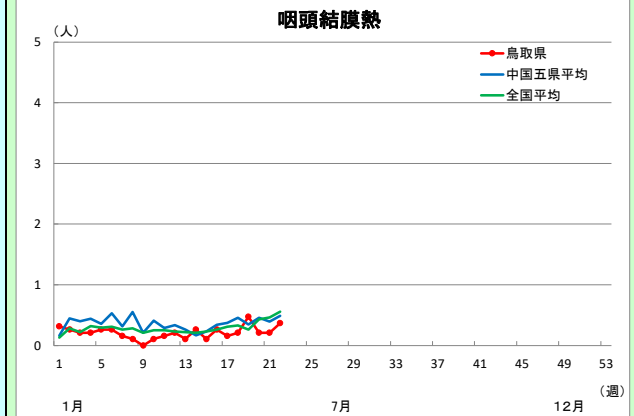
咽頭結膜熱



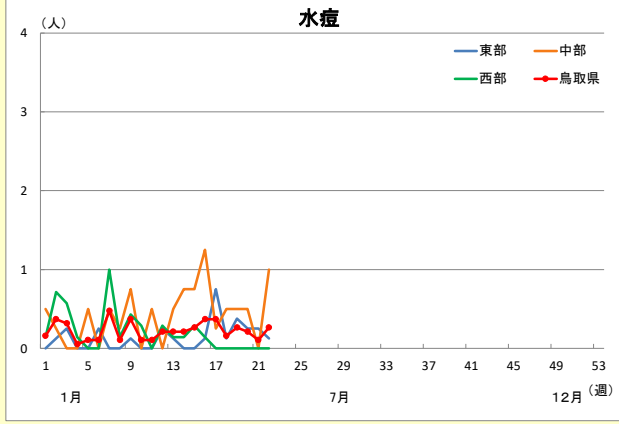
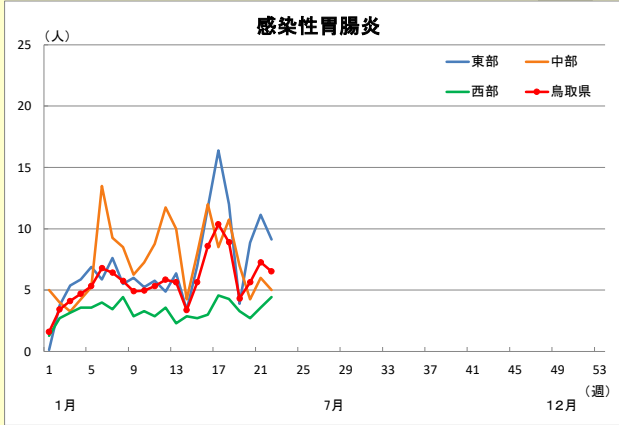
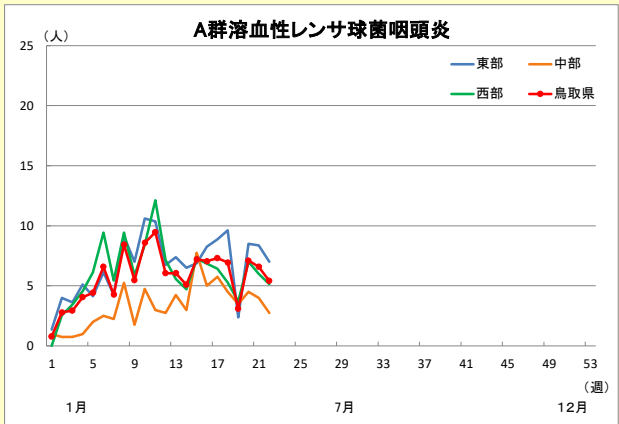
咽頭結膜熱



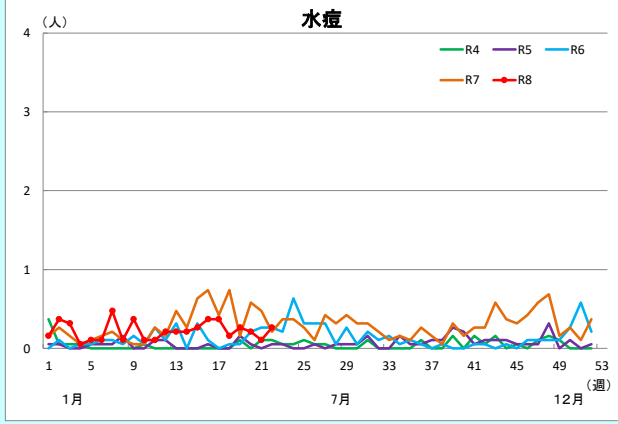
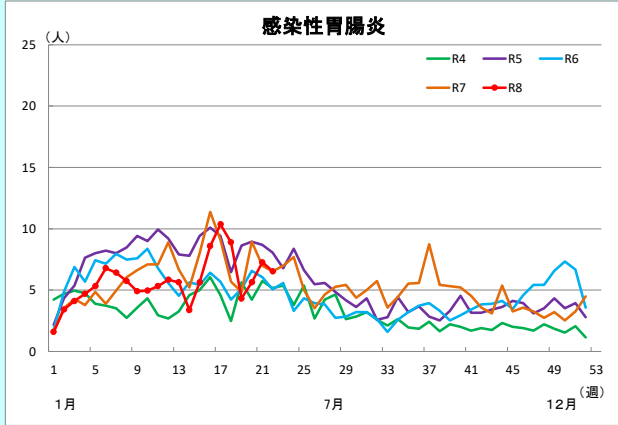
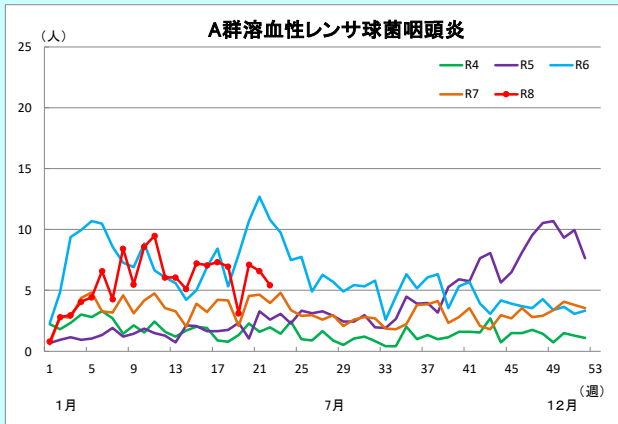
咽頭結膜熱



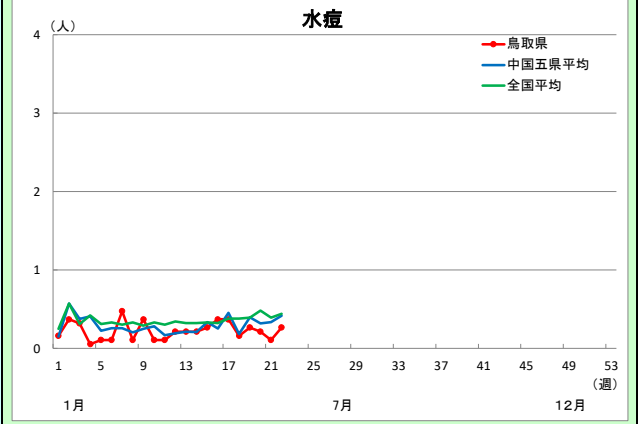
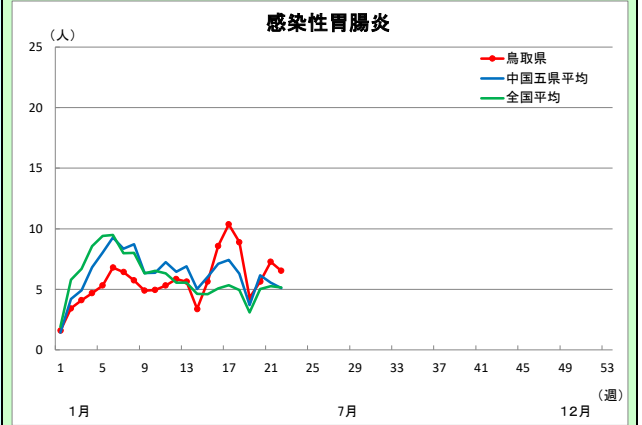
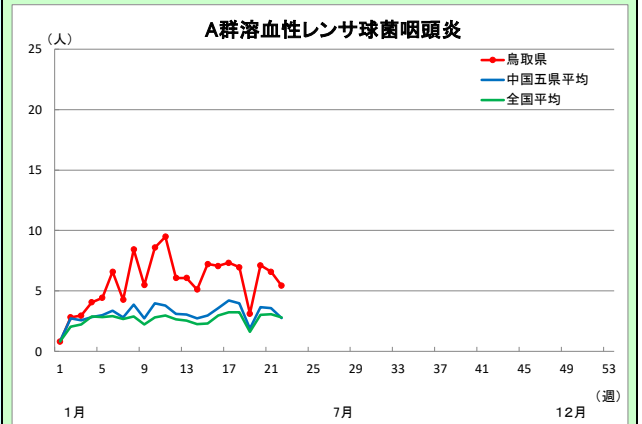
地区発生状況(定点当たり)



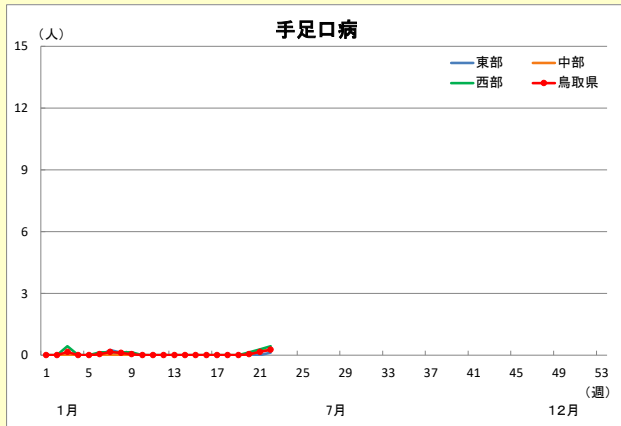
年次別発生状況(定点当たり)



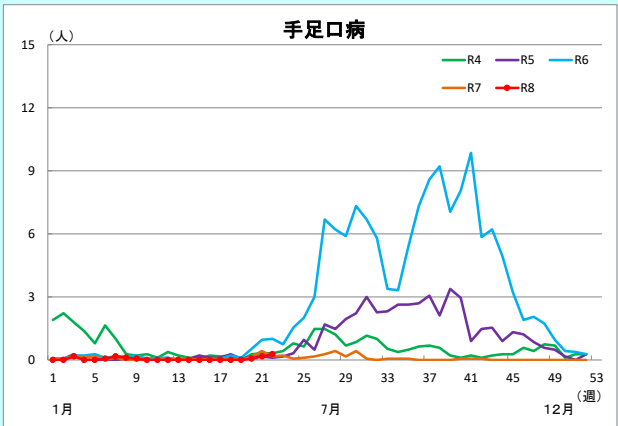
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



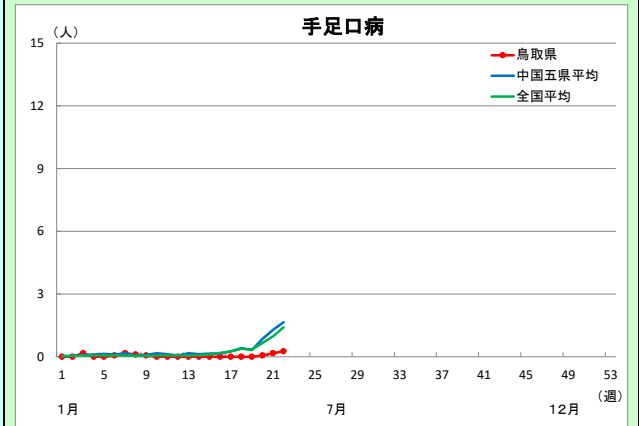
### 地区発生状況(定点当たり)



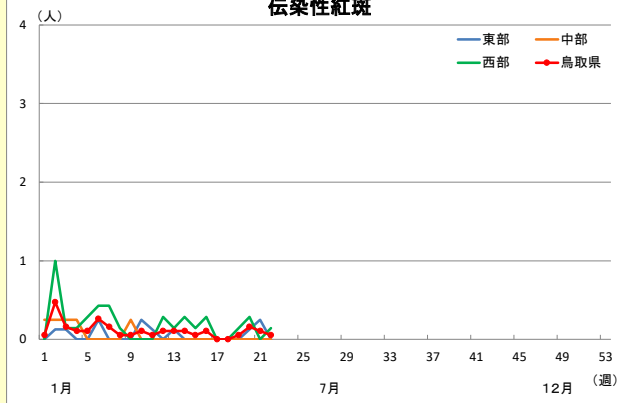
### 年次別発生状況(定点当たり)



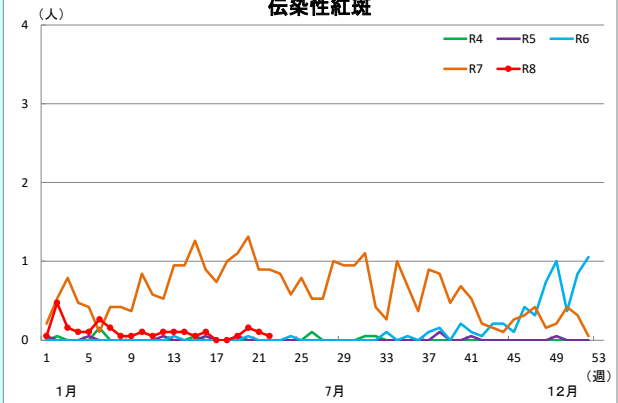
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



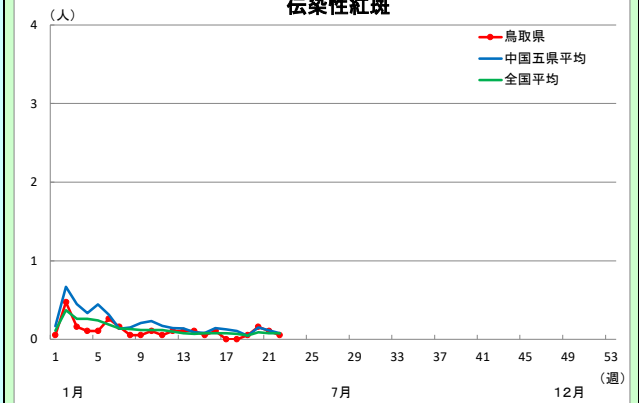
### 伝染性紅斑



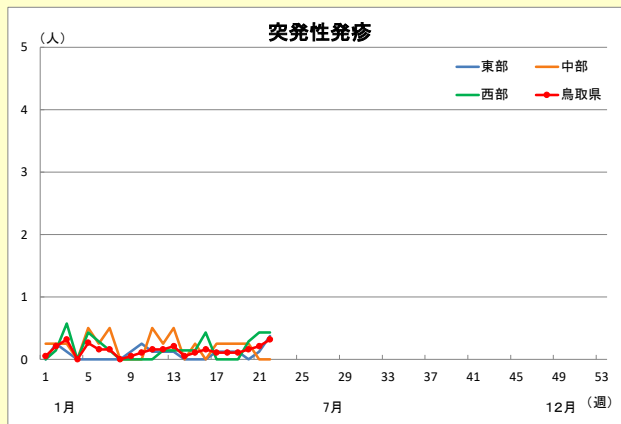
### 伝染性紅斑



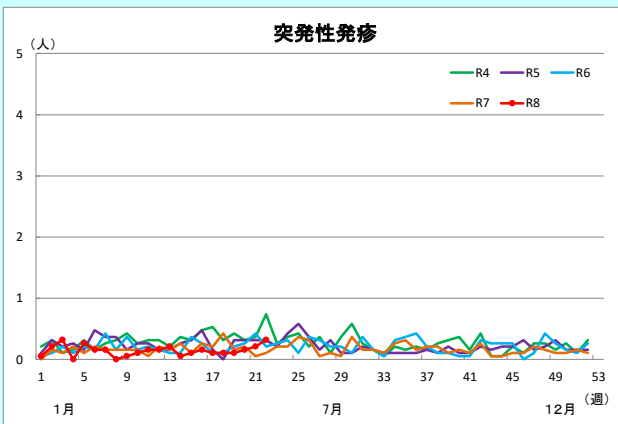
### 伝染性紅斑



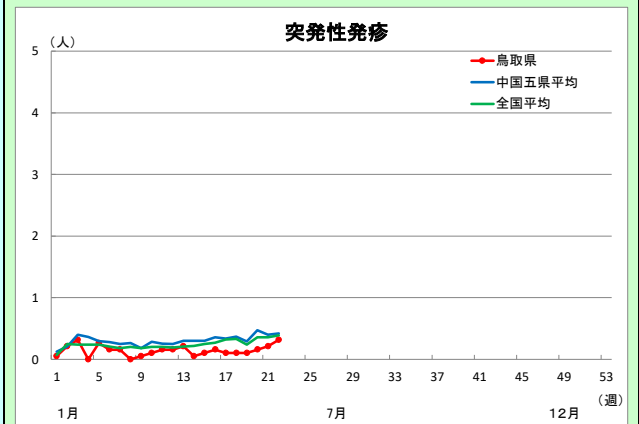
### 突発性発疹



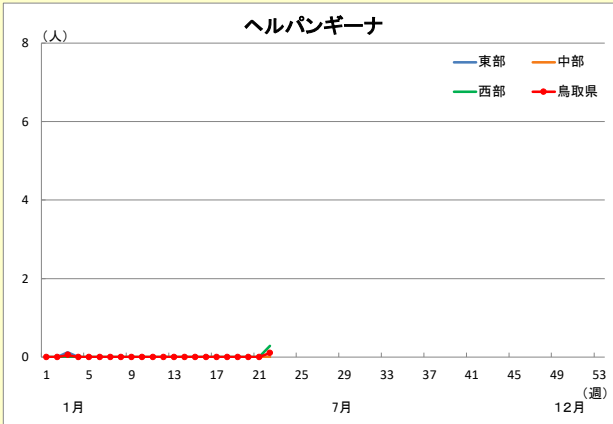
### 突発性発疹



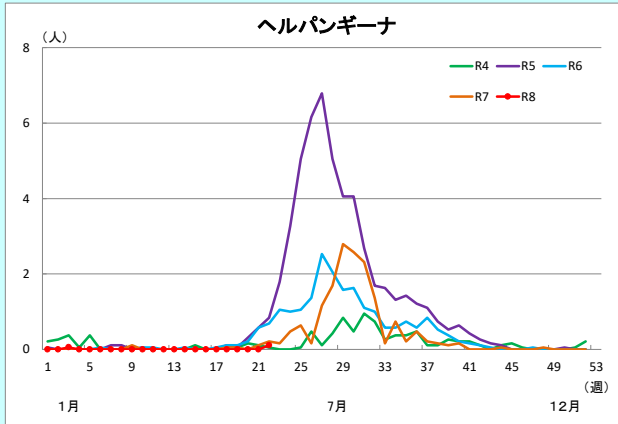
### 突発性発疹



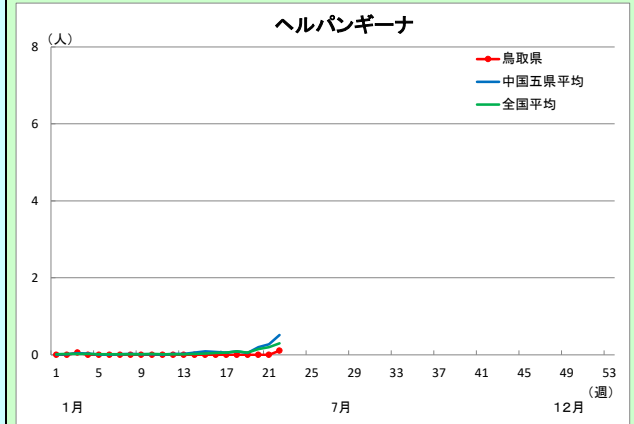
地区発生状況(定点当たり)



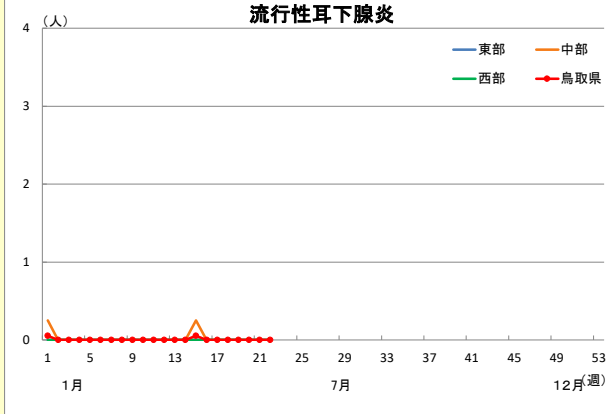
年次別発生状況(定点当たり)



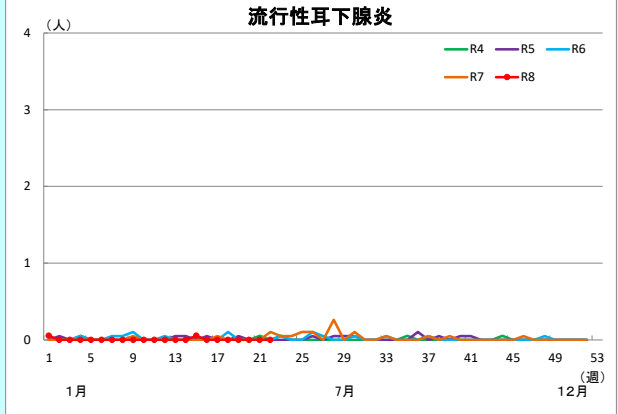
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



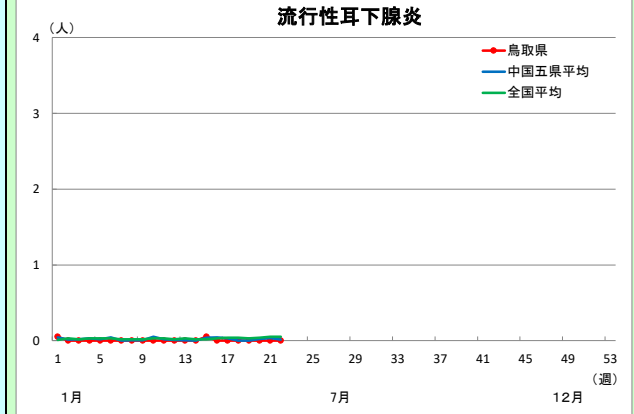
流行性耳下腺炎



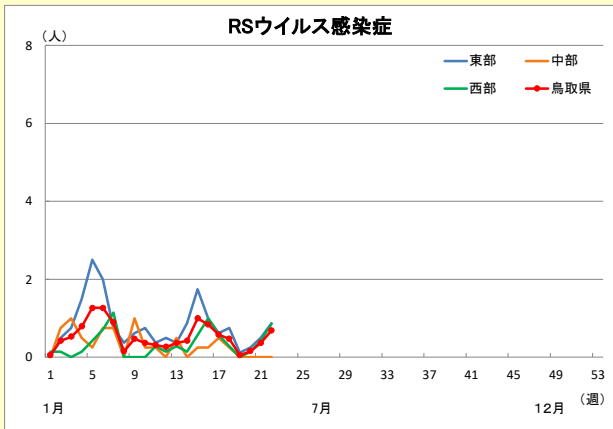
流行性耳下腺炎



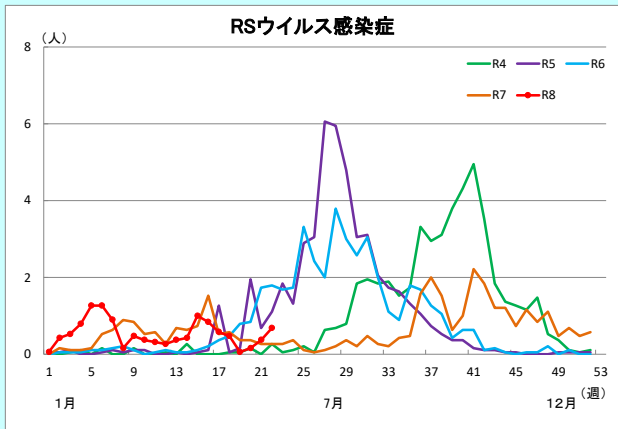
流行性耳下腺炎



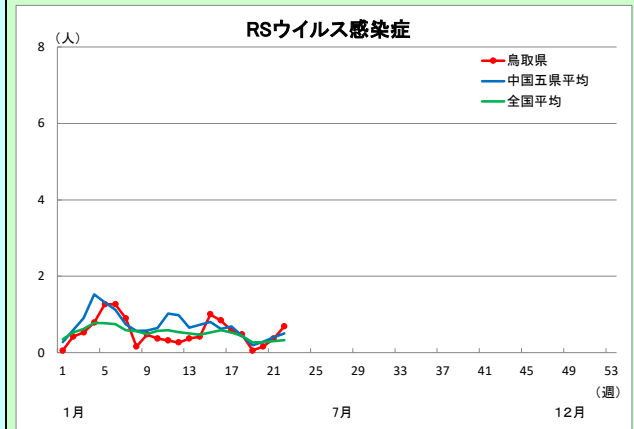
RSウイルス感染症



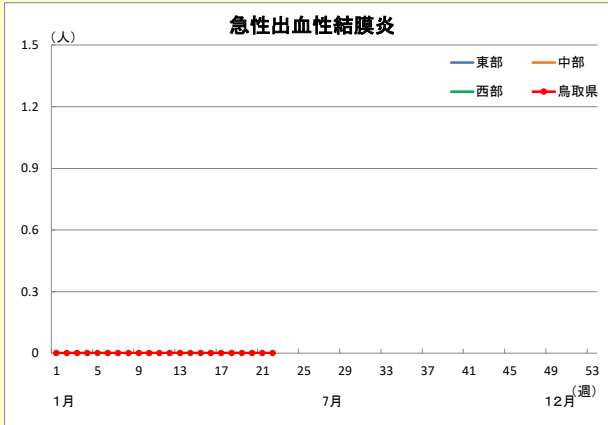
RSウイルス感染症



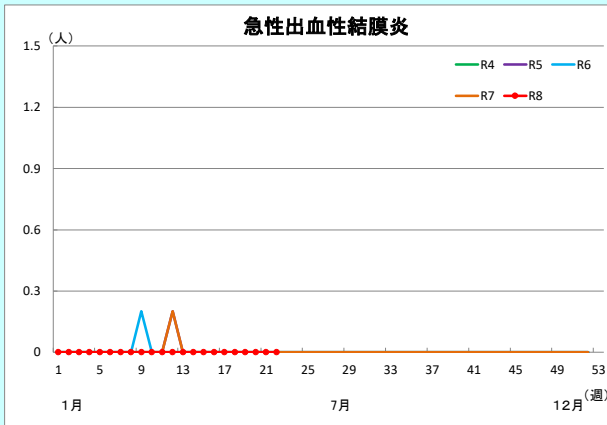
RSウイルス感染症



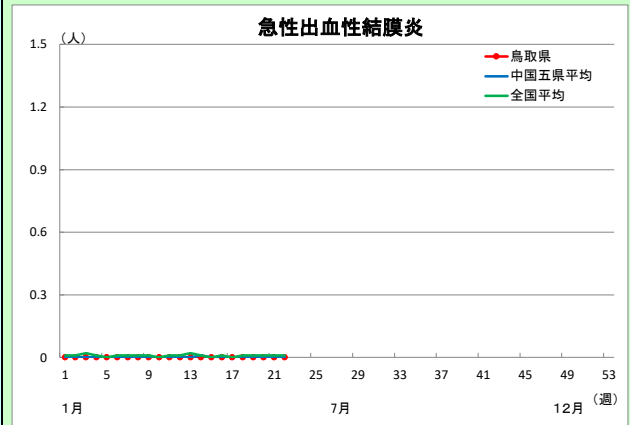
### 地区発生状況(定点当たり)



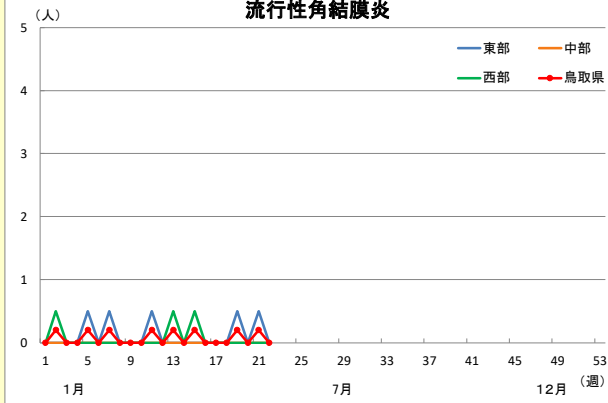
### 年次別発生状況(定点当たり)



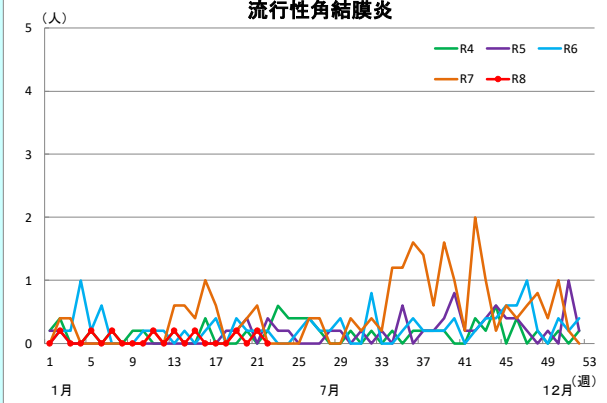
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



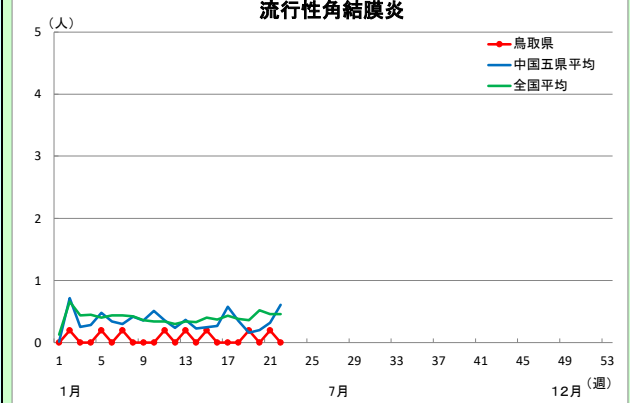
### 流行性角結膜炎



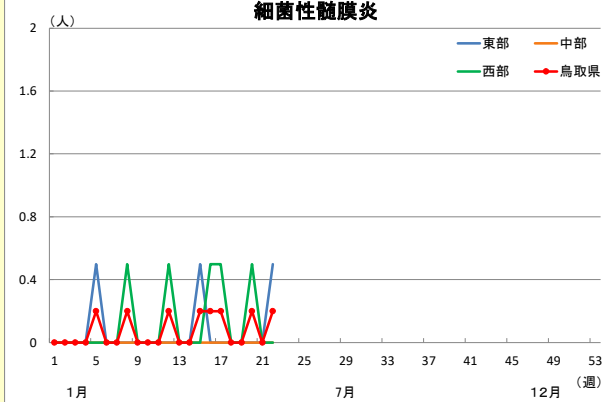
### 流行性角結膜炎



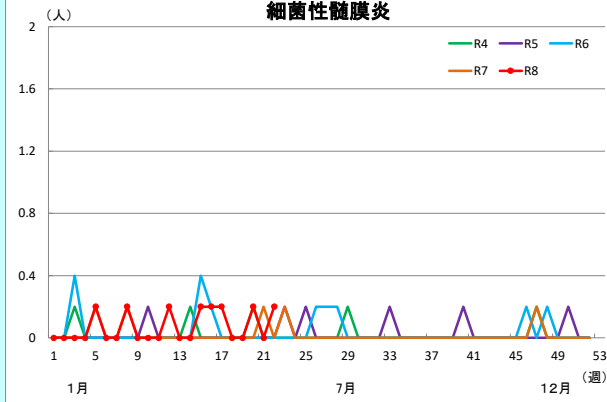
### 流行性角結膜炎



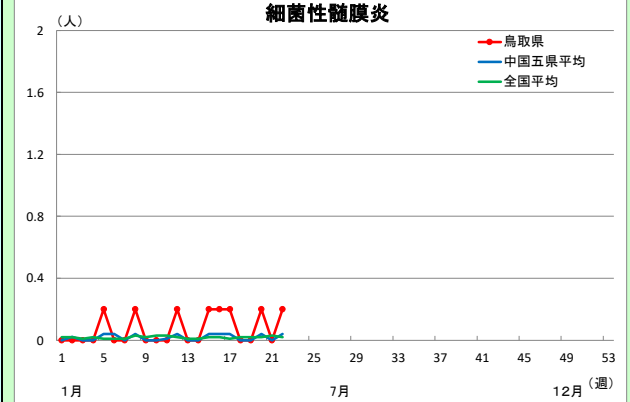
### 細菌性髄膜炎



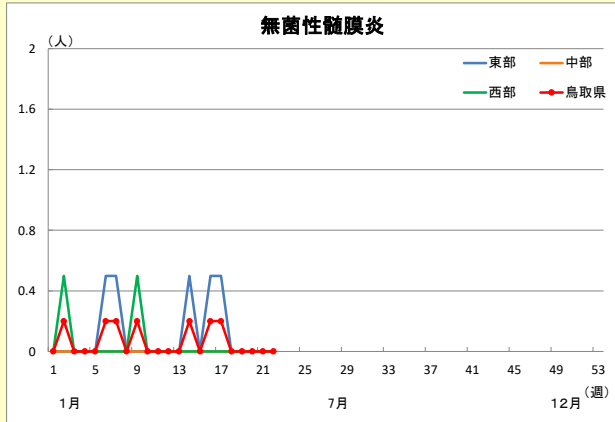
### 細菌性髄膜炎



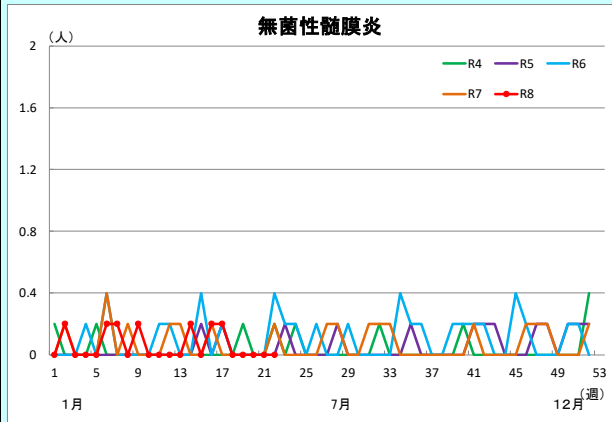
### 細菌性髄膜炎



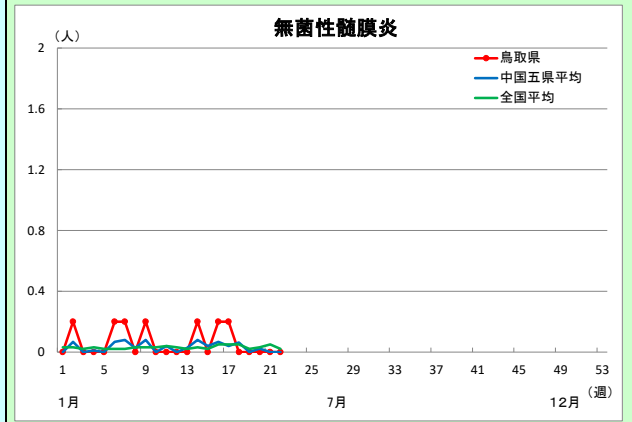
地区発生状況(定点当たり)



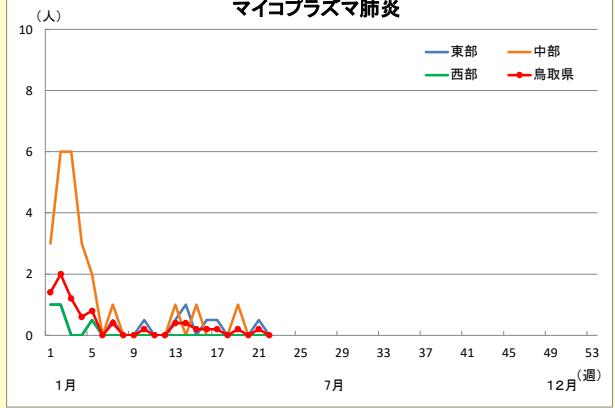
年次別発生状況(定点当たり)



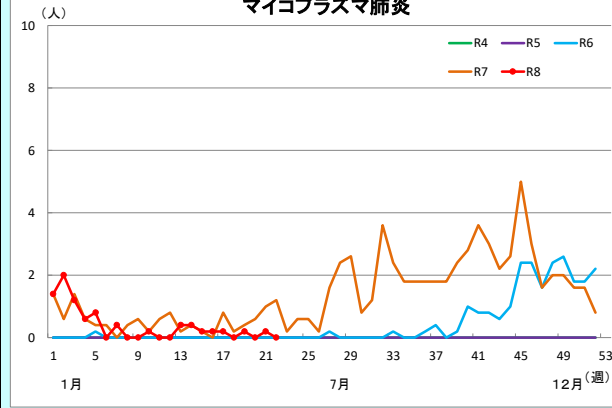
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



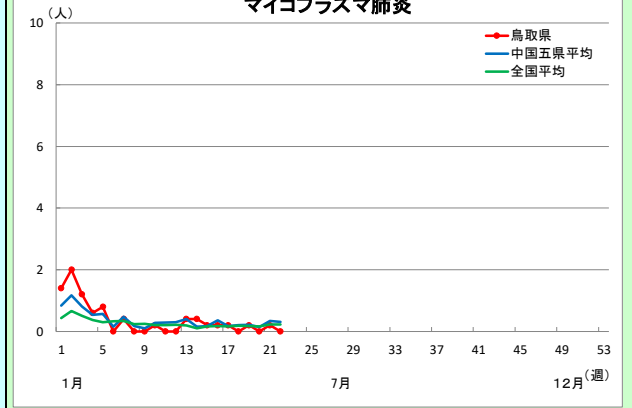
マイコプラズマ肺炎



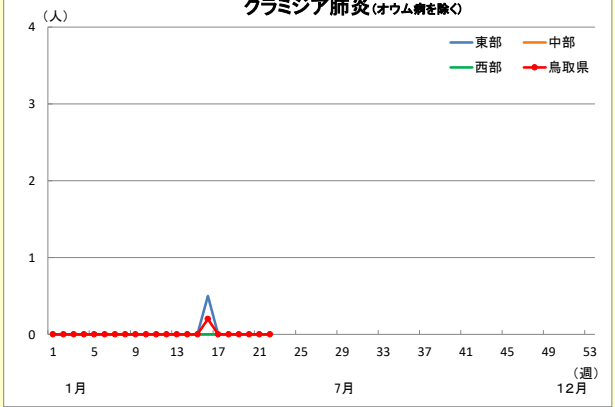
マイコプラズマ肺炎



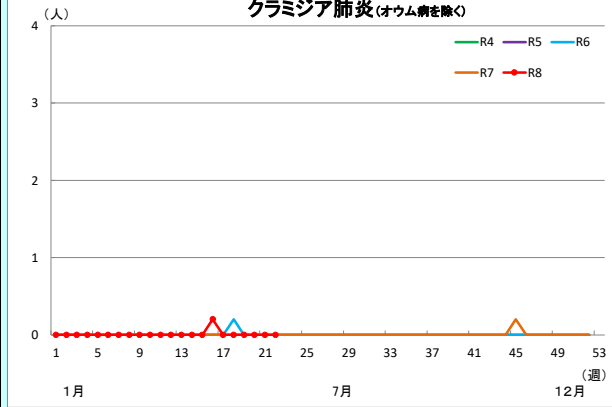
マイコプラズマ肺炎



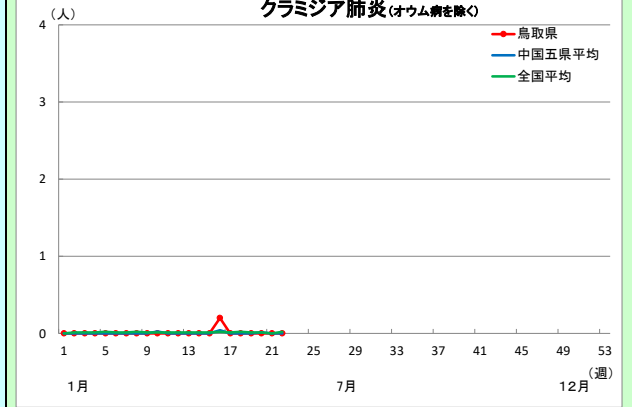
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



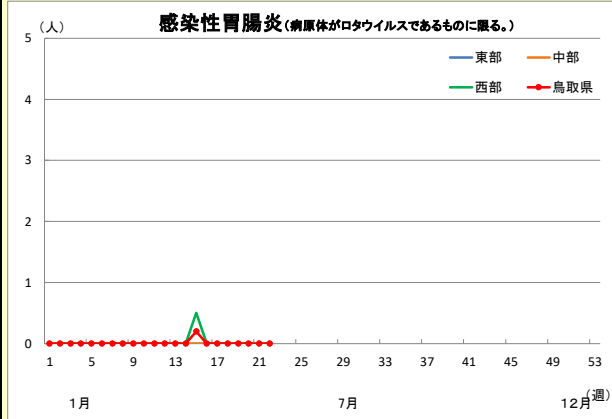
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



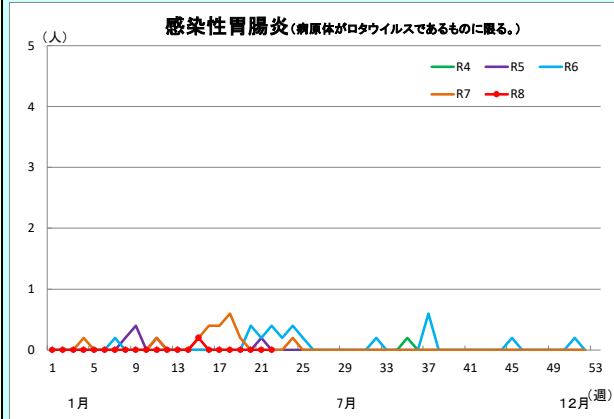
クラミジア肺炎(オウム病を除く)



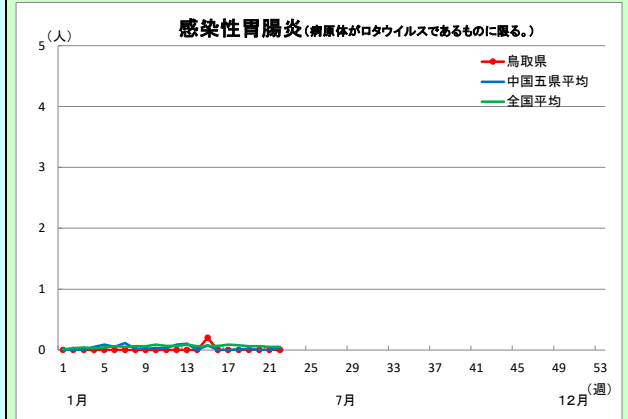
### 地区発生状況(定点当たり)



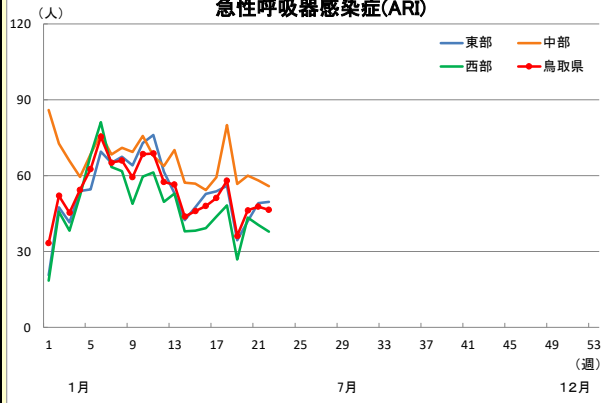
### 年次別発生状況(定点当たり)



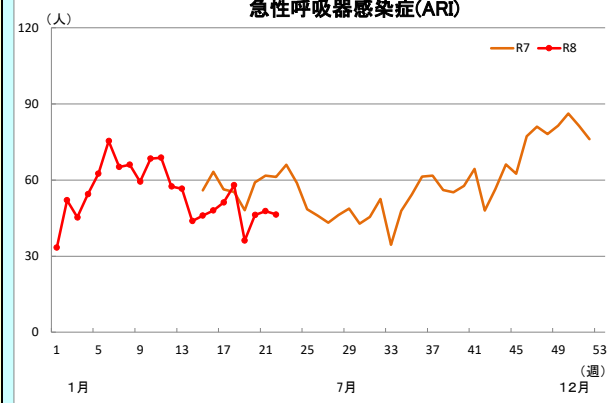
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



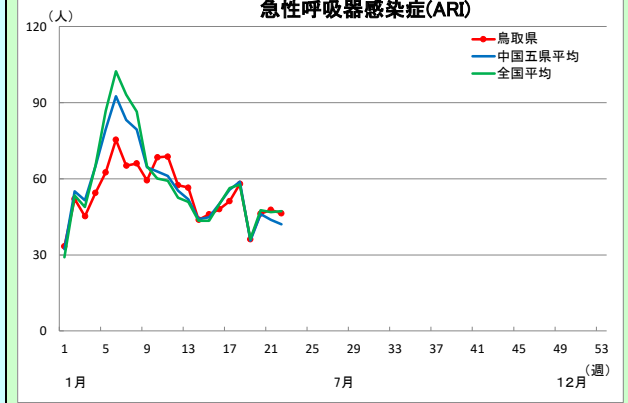
### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



### 急性呼吸器感染症(ARI)



注)新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

令和7年

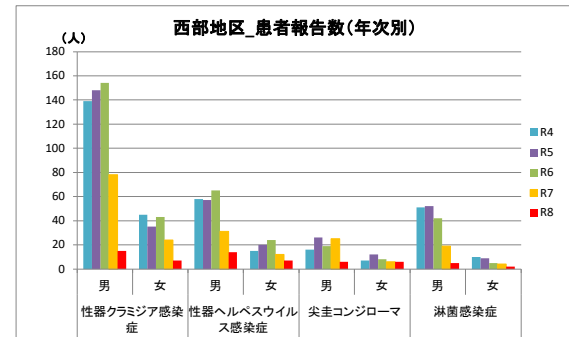
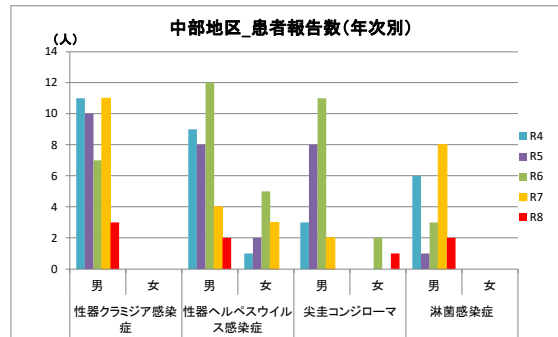
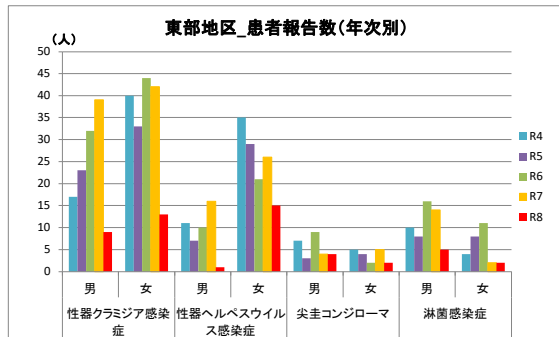
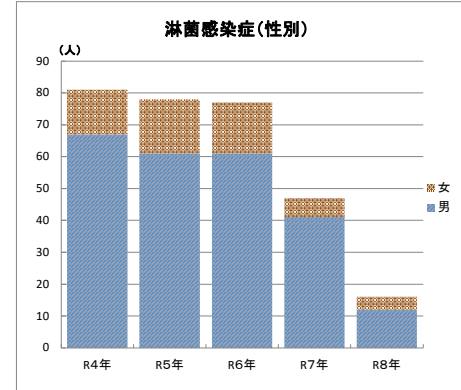
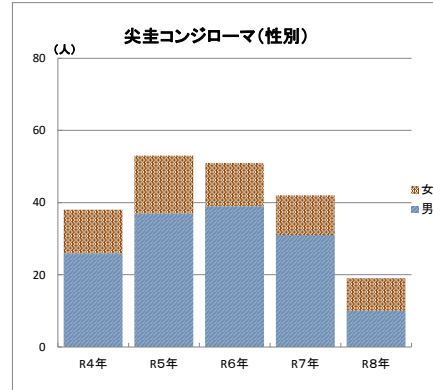
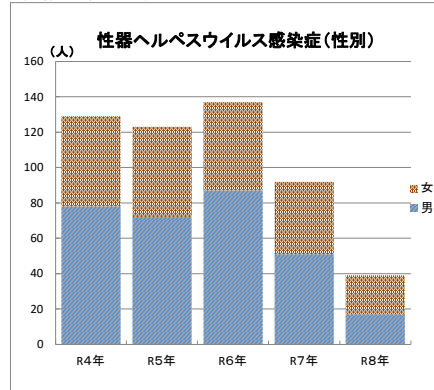
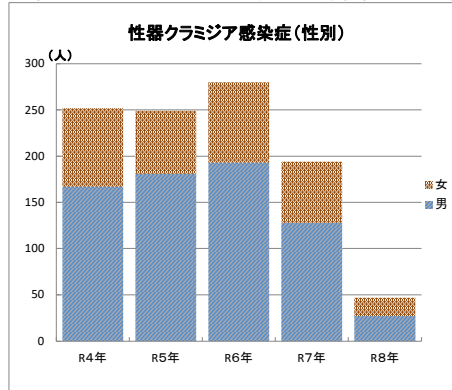
定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			12月計			対前年累計比率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
S	性器クラミジア感染症	9	3	12	15	4	19	13	6	19	10	9	19	21	3	24	11	7	18	14	5	19	9	1	10	1	7	8	8	7	15	4	9	13	13	5	18	128	66	194	66%	76%	69%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	7	4	11	3	2	5	2	4	6	3	4	7	7	1	8	2	4	6	6	5	11	6	1	7	3	1	4	5	5	10	4	7	11	3	3	6	51	41	92	59%	82%	67%
D	尖圭コンジローマ	0	1	1	3	1	4	4	4	8	5	3	8	3	1	4	1	0	1	4	1	5	1	0	1	5	0	5	2	0	2	0	0	0	3	0	3	31	11	42	79%	92%	82%
7	淋菌感染症	3	0	3	4	0	4	5	0	5	2	0	2	3	0	3	5	2	7	4	1	5	5	1	6	3	1	4	4	0	4	2	0	2	1	1	2	41	6	47	67%	38%	61%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5	2	7	9	5	14	5	5	10	6	5	11	3	2	5	6	1	7	7	1	8	2	3	5	3	4	7	3	5	8	7	5	12	3	5	8	59	43	102	87%	123%	99%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	38%	—	50%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	200%	—	200%

令和8年

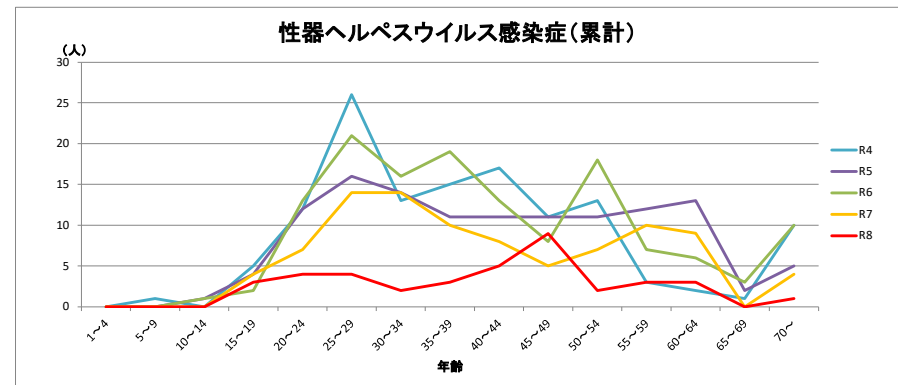
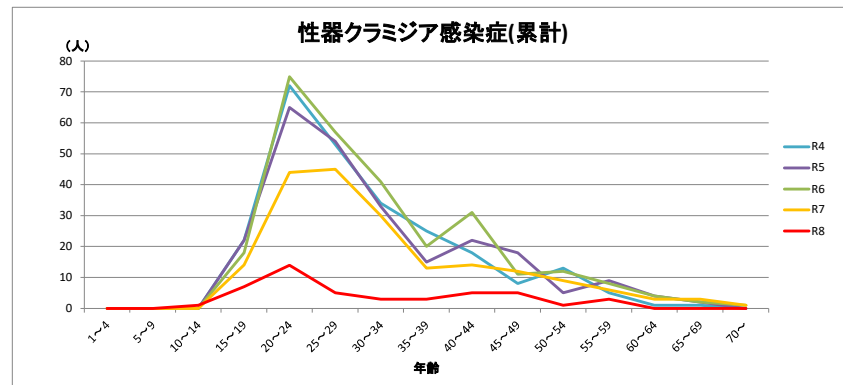
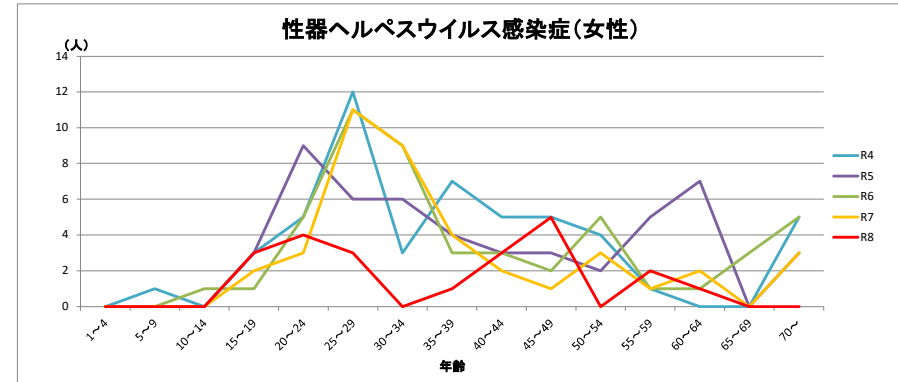
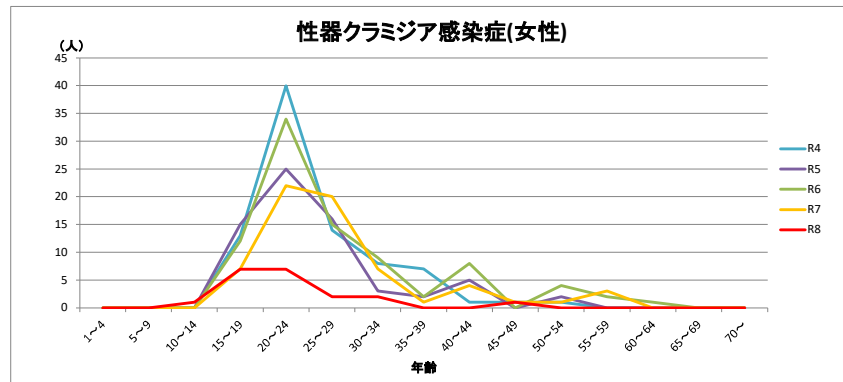
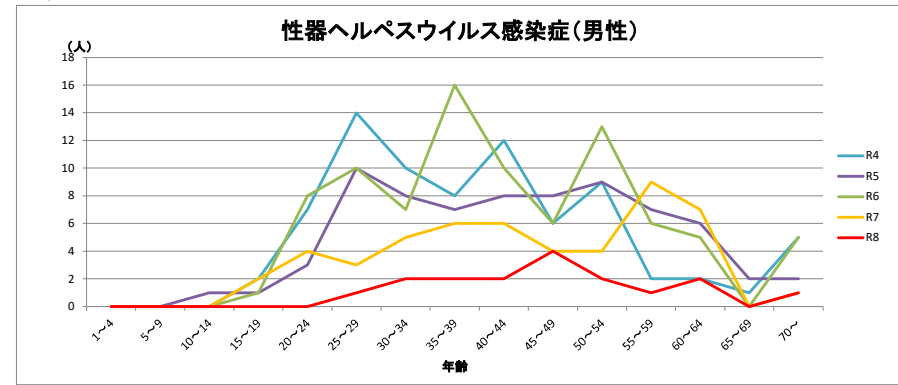
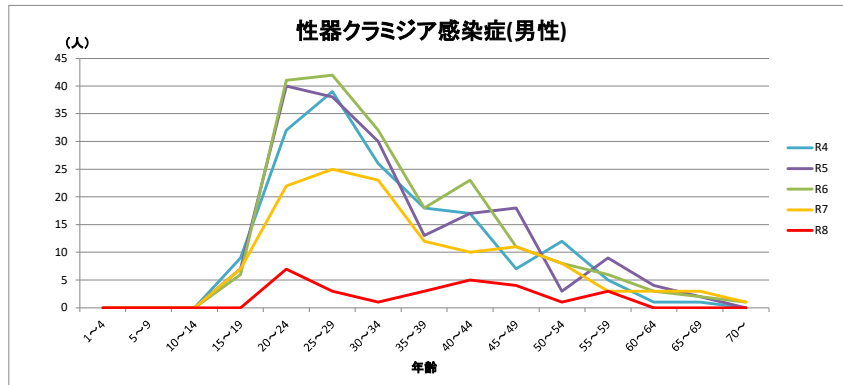
定 点 数	疾 病 名	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			5月計			対前年5月末累計比率					
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
S	性器クラミジア感染症	6	5	11	6	2	8	3	7	10	9	4	13	3	2	5																									27	20	47	40%	80%	51%
T	性器ヘルペスウイルス感染症	2	7	9	4	3	7	5	6	11	5	2	7	1	4	5																									17	22	39	77%	147%	105%
D	尖圭コンジローマ	0	2	2	1	0	1	0	3	3	6	3	9	3	1	4																									10	9	19	67%	90%	76%
7	淋菌感染症	2	0	2	2	0	2	0	3	3	5	0	5	3	1	4																									12	4	16	71%	—	94%
基 幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	9	5	14	7	2	9	4	4	8	5	2	7	8	1	9																									33	14	47	118%	74%	100%
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																									0	0	0	0%	0%	0%
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																												0	0	0	—	—	—

「薬剤耐性緑膿菌感染症」は、定点把握対象疾患から全数把握対象疾患への変更に伴い、令和8年4月5日届出分までを集計しています。

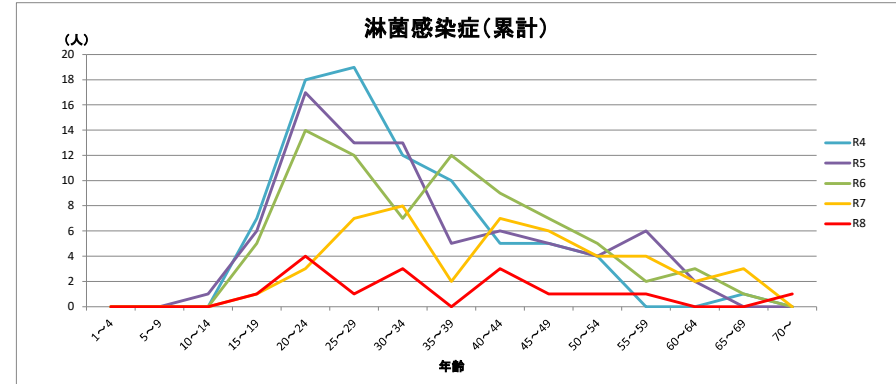
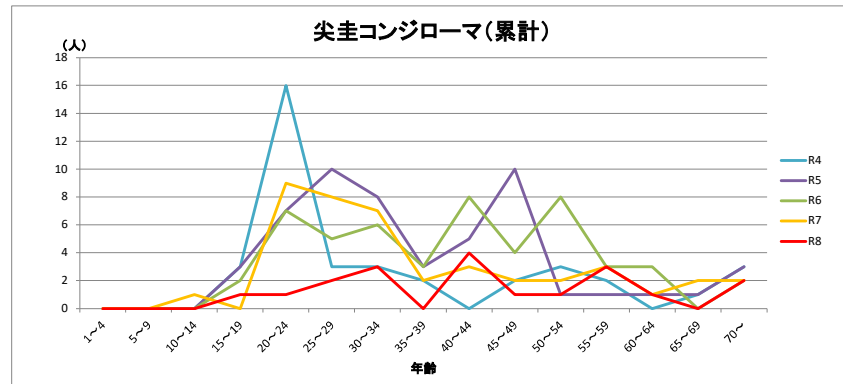
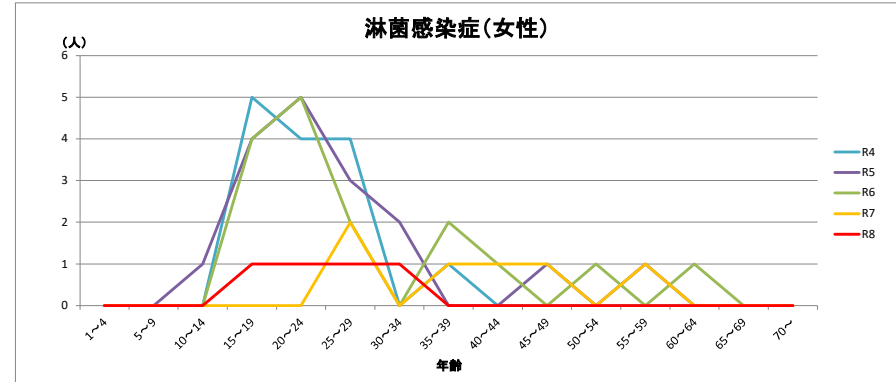
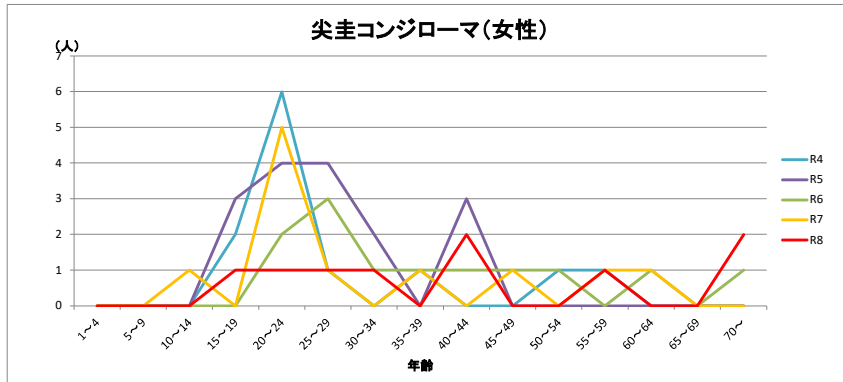
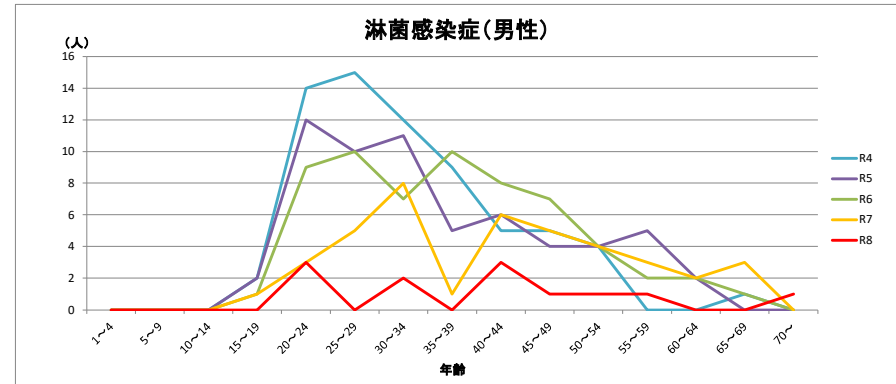
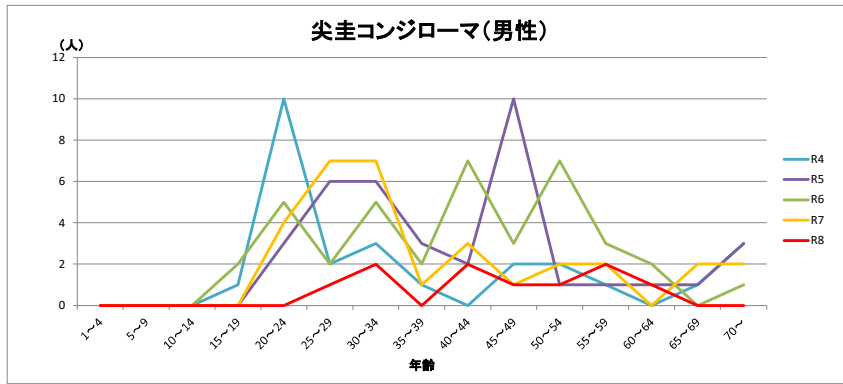
※各年毎に1月から12月の定点医療機関からの累計患者報告数です。



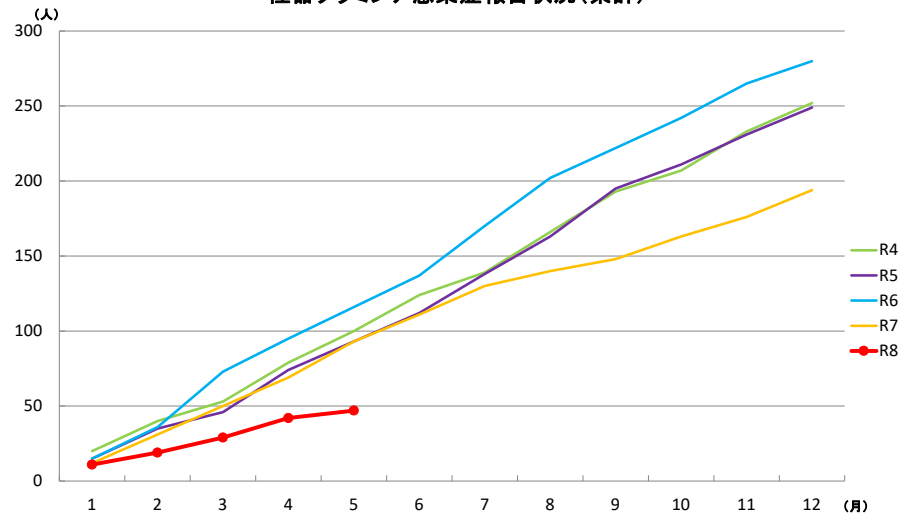
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



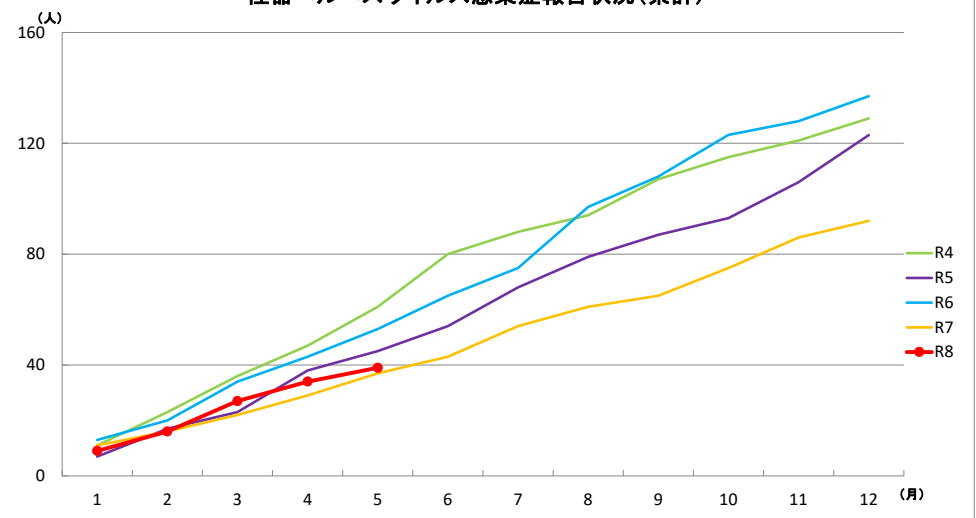
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



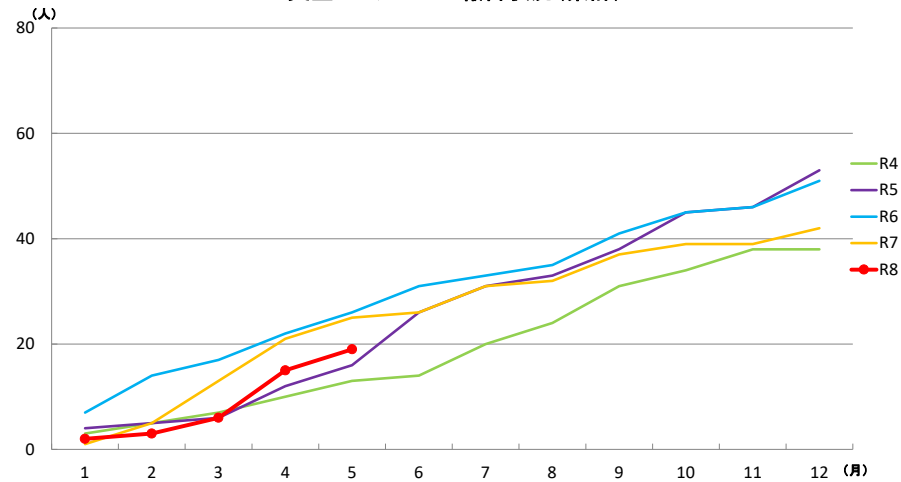
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



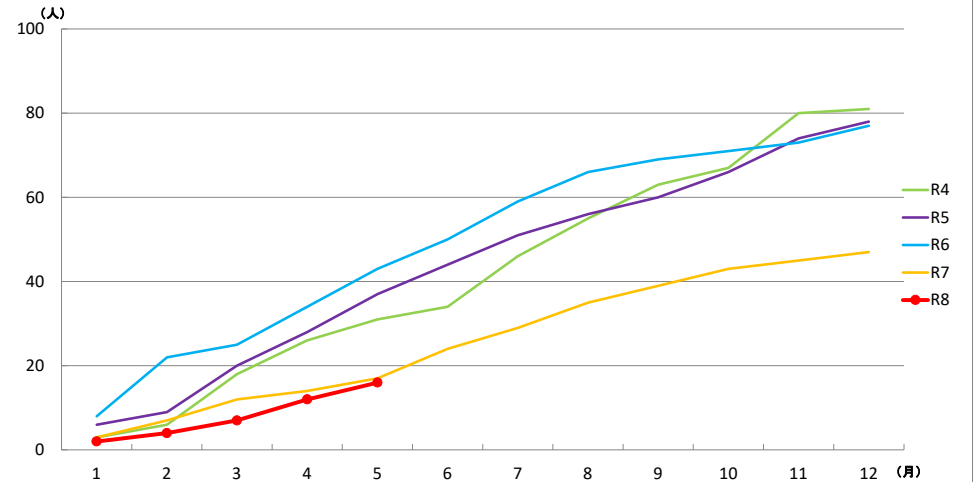
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)

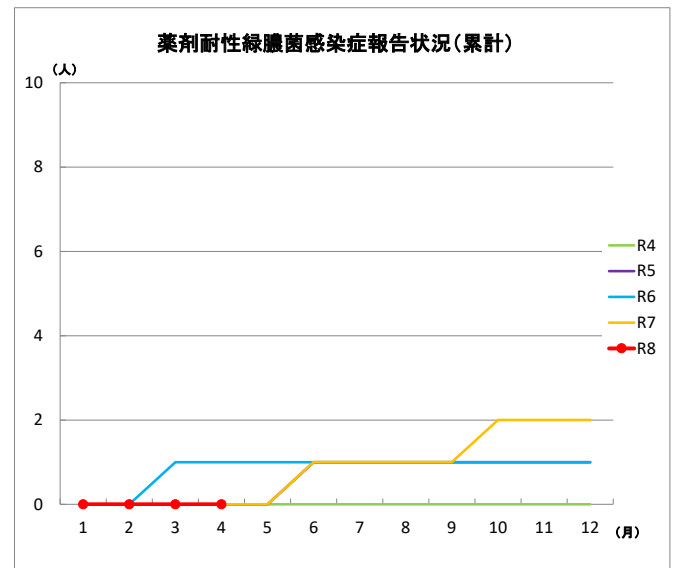
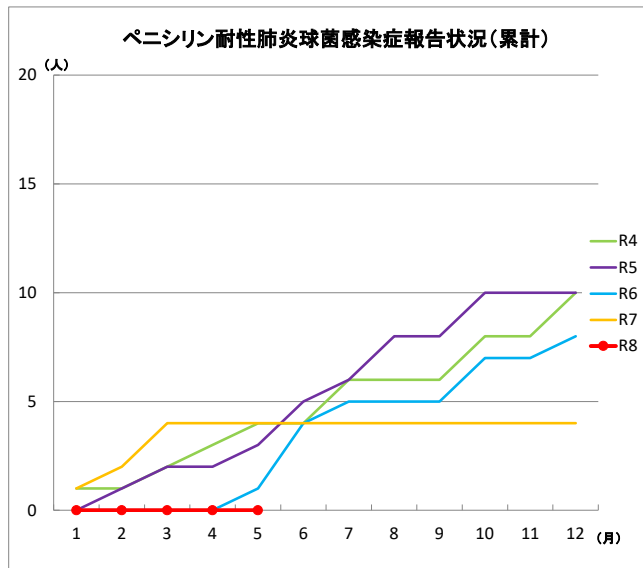
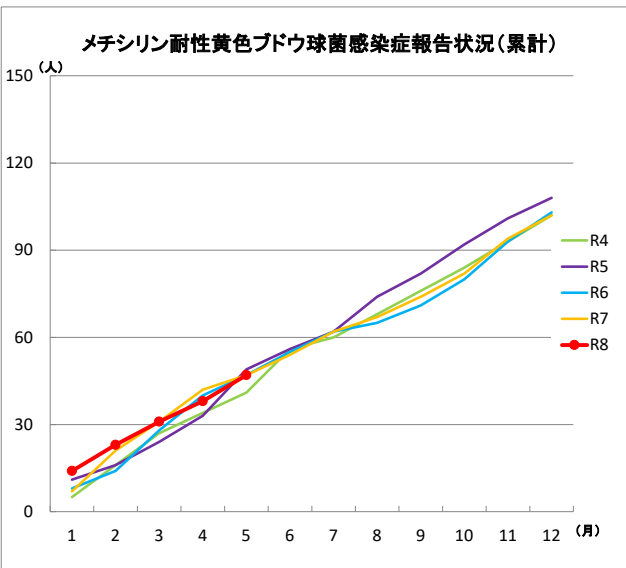
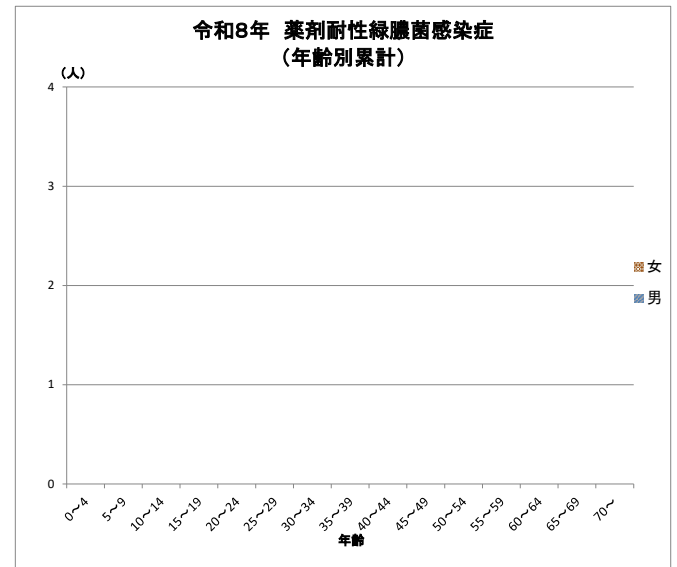
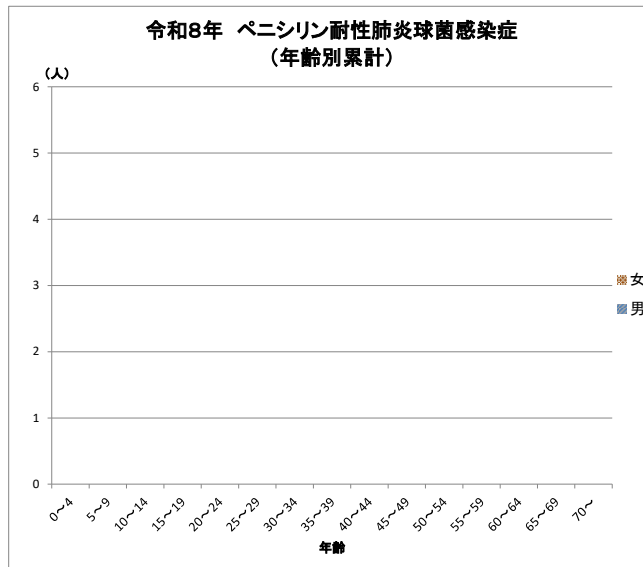
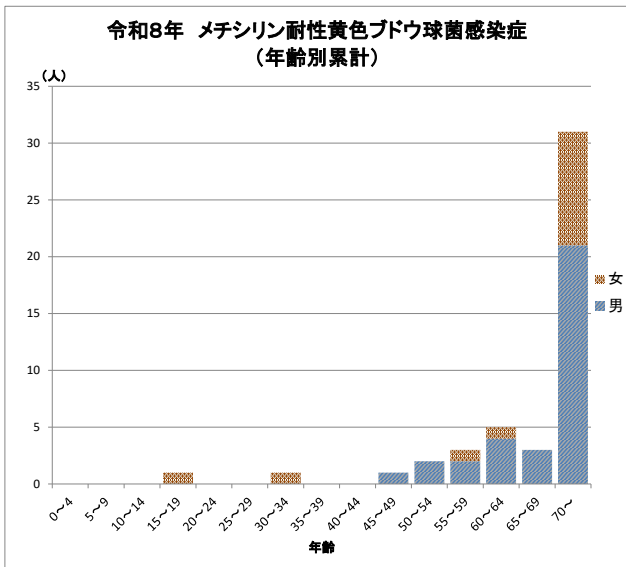


尖圭コンジローマ報告状況(累計)



淋菌感染症報告状況(累計)





# 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和8年)

令和8年5月31日 現在  
※( )は前年数値

## (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計							
													5月時点	年間						
急性灰白髄炎														0	(0)	(0)				
結核	5	(3)	1	(3)	5	(3)	3	(4)	2	(6)	(4)	(8)	(7)	(3)	(6)	(4)	(4)	16	(19)	(55)
潜在性結核 ※再掲	2		1		1	(1)				(1)		(2)	(2)			(2)	(1)	5	(1)	(9)
疑似症患者 ※再掲																		0	(0)	(0)
ジフテリア															0	(0)	(0)			
重症急性呼吸器症候群															0	(0)	(0)			
中東呼吸器症候群															0	(0)	(0)			
鳥インフルエンザ(H5N1)															0	(0)	(0)			
鳥インフルエンザ(H7N9)															0	(0)	(0)			

## (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計						
													5月時点	年間					
コレラ														0	(0)	(0)			
疑似症 ※再掲														0	(0)	(0)			
細菌性赤痢														0	(0)	(0)			
腸管出血性大腸菌感染症	6		2		1		4		8		(1)	(2)	(24)				21	(0)	(27)
腸チフス															0	(0)	(0)		
パラチフス															0	(0)	(0)		

## (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計			
													5月時点	年間		
マラリア														0	(0)	(0)
E型肝炎							(1)							0	(0)	(1)
A型肝炎						1								1	(0)	(0)
つつが虫病		(1)					1						(1)	1	(1)	(2)
日本紅斑熱						2	(1)	(1)		(1)	(1)			2	(1)	(4)
重症熱性血小板減少症候群						(1)	(1)			(1)				0	(1)	(3)
レジオネラ症	2	(1)	(2)	1	(1)	(1)	1	(3)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)	4	(8)	(16)
レプトスピラ症														0	(0)	(0)
デング熱														0	(0)	(0)
チクングニア熱														0	(0)	(0)

## (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計							
													5月時点	年間						
アメーバ赤痢			1					(1)						1	(0)	(1)				
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)			(1)							(1)	(1)			0	(1)	(3)				
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)					1									1	(0)	(0)				
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)	1	(1)				(1)			(1)	(1)		1	(3)	(6)				
クリプトスポリジウム症														0	(0)	(0)				
クロイツフェルト・ヤコブ病														0	(0)	(0)				
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(1)			1	(1)		(1)	(1)					(1)	1	(3)	(5)				
後天性免疫不全症候群								(2)						(1)	0	(0)	(3)			
無症候性キャリア ※再掲														(1)	0	(0)	(1)			
AIDS ※再掲														0	(0)	(0)				
その他								(2)						0	(0)	(2)				
侵襲性インフルエンザ菌感染症						1	(1)	(1)						1	(1)	(2)				
侵襲性髄膜炎菌感染症														0	(0)	(0)				
侵襲性肺炎球菌感染症	2	(5)	1	(1)	(1)	1	(1)	5	(3)		(2)	(2)		9	(10)	(17)				
水痘(入院例に限る。)	1				1									2	(0)	(0)				
梅毒	4	(9)	1	(2)	(2)	(3)	3			(5)	(1)	(6)	(1)	(2)	(2)	8	(16)	(33)		
播種性クリプトコックス症	(1)		1	(1)	(1)									1	(3)	(3)				
破傷風														0	(0)	(0)				
薬剤耐性アシネトバクター感染症														0	(0)	(0)				
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1		2									3	(0)	(0)				
ジアルジア症														0	(0)	(0)				
百日咳	7	(28)	2	(44)	4	(74)	1	(120)	2	(98)	(100)	(104)	(47)	(39)	(14)	(14)	(4)	16	(364)	(686)
麻しん								(1)							0	(1)	(1)			
風しん														0	(0)	(0)				

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													5月時点	年間	
令和8年	6 (4)	2 (1)	1	4 (2)	8									21 (7)	21 (7)
令和7年							1 (1)	2	24 (2)					0 (0)	27 (3)
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3	1 (1)	3 (1)	3	1		7 (2)	21 (6)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)		0 (0)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3		2 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)							7 (4)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1		3 (1)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)		8 (2)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1				3 (0)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)		3 (2)	21 (11)

② 血清型別件数

区分	O1	O8	O26	O29	O55	O103	O111	O125	O128	O145	O146	O148	O157	型不明	計
令和8年	1 (1)					9 (1)						1 (1)	8 (2)	2 (2)	21 (7)
令和7年						1 (1)							25 (1)	1 (1)	27 (3)
令和6年			1		2 (2)		2				1 (1)		13 (1)	2 (2)	21 (6)
令和5年			1 (1)										17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3					2 (2)		8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)					1 (1)		3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年		1	4 (2)	1		4 (2)	3 (1)	1 (1)	1		1 (1)		7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)	4 (1)						15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年			2			3				1			16 (2)		22 (2)
平成29年			1			2 (1)	4 (3)				1 (1)		10 (3)	3 (3)	21 (11)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和8年	6 (1)			2 (1)	5 (1)	2	2 (2)	1	3 (2)			21 (7)
令和7年			2	3	9	3 (1)	3 (1)	4	2	1 (1)		27 (3)
令和6年	3	3	1	3 (2)	5 (1)		2 (1)	1 (1)	2 (1)	1		21 (6)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和8年	1 (1)	2	18 (6)	21 (7)
令和7年	2	4 (1)	21 (2)	27 (3)
令和6年	2 (1)	6	13 (5)	21 (6)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)

# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和8年5月検出分 検体採取 令和8年4月及び5月)

令和8年6月12日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 急性呼吸器感染症

臨床診断名が急性呼吸器感染症の検体44件について検査を実施したところ、以下のとおりの結果であった。

### ○検査対象（ウイルス）

ライノ、メタニューモ、インフルエンザ-A型及びB型、パラインフルエンザ1-4、RS-A型及びB型、ボカ、SARS-CoV-2、エンテロ、アデノ、コロナNL63、コロナOC43

### ○検査対象（細菌）

マイコプラズマ

### ○検出結果

44件中34検体（77%）から上記対象病原体が検出された。内訳は、ライノ：26件、ボカ：5件、ヒトメタニューモ：1件、RS-A型：1件、SARS-CoV-2：1件、パラインフルエンザ1型：1件、パラインフルエンザ3型：1件、アデノ：2件、コロナOC43：4件であった。令和8年1月から令和8年5月検出分と合わせた年齢別検出数は表1のとおり（ただし、検出件数は重複検出を含む。）。

表1. 急性呼吸器感染症の病原体、年齢別検出件数（令和8年1月～5月検出分）

年齢	病原体年齢別検出数（5月検出数/累積）														合計	
	0-4		5-9		10-19		20-39		40-59		60-79		80≤			
標本数	21	121		10	2	10		23	7	37	10	51	4	23	44	275
ライノ	16	66		3	1	1		6	5	7	4	10		1	26	94
ボカ	5	14		1											5	15
ヒトメタニューモ		1					1				1	1			1	3
RS-A		4									1	1	3	1	1	8
RS-B		4							1		2		4			11
SARS-CoV-2		3							2		9	1	6	1	1	20
パラインフルエンザ1	1	1													1	1
パラインフルエンザ2																
パラインフルエンザ3		1									1	1			1	2
パラインフルエンザ4				1												1
アデノ	2	13									1				2	14
エンテロ																
インフルエンザA型		6		2		2		3		3		2		1		19
インフルエンザB型		3		4		4		4		3		5		1		24
コロナNL63		7								2		1				10
コロナOC43	2	21						4		5	1	6	1	2	4	38
マイコプラズマ								1								1
検出せず	2	18		1	1	3		5	2	14	4	15	1	5	10	61

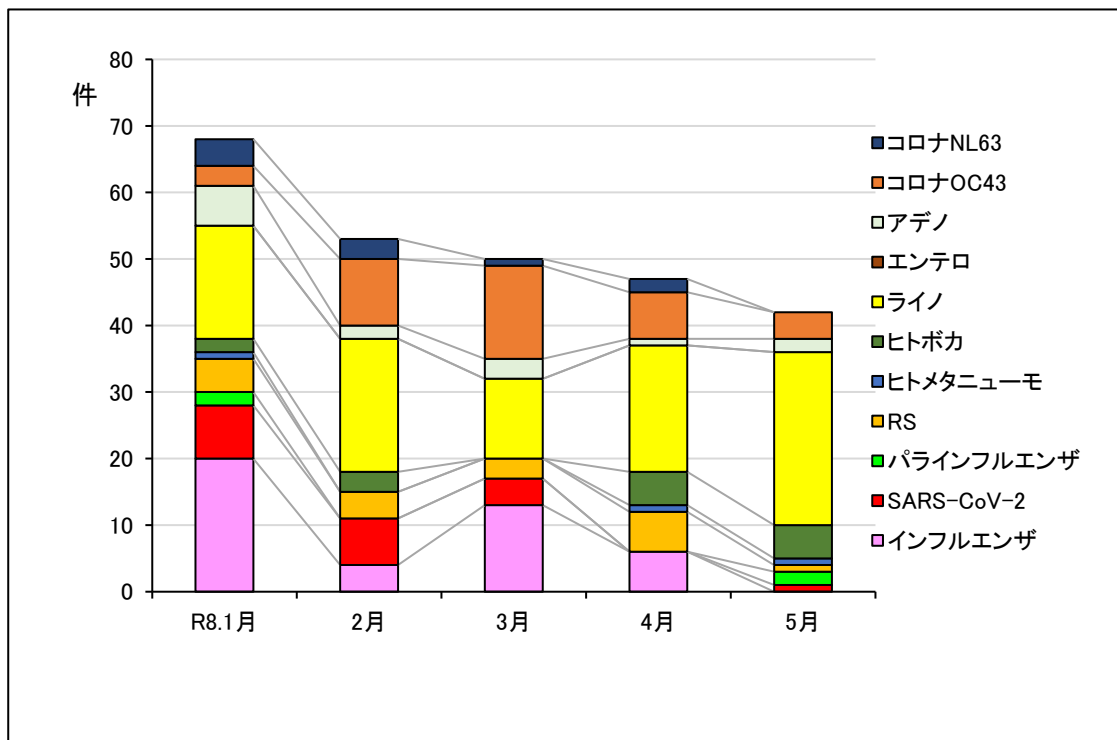


図1. 急性呼吸器感染症の月別ウイルス検出状況 (令和8年1月～5月検出分)

アデノウイルスの2件は、すべてC種2型であった。C種2型は、急性呼吸器感染症の原因となるウイルスである。

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の12件について検査を行ったところ、ノロウイルスGⅡが5件検出された。遺伝子型はすべてGⅡ.P16-GⅡ.4であった。アデノウイルスは感染性胃腸炎の原因ウイルスとされるF種41型が2件検出された。この他アストロウイルスが1件検出された。

## 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の11件について検査を行ったところ、A群溶血性レンサ球菌が8件(T型別3型:4件、T型別4型:2件、T型別不明:2件)分離された。3型、4型は咽頭炎で多くみられる型である。

## 4 RSウイルス感染症

臨床診断名がRSウイルス感染症の2件について検査を行ったところ、B型が2件検出された。症状は咳嗽、鼻汁、発熱、上気道炎、下気道炎であり、呼吸困難などの重症例はなかった。

## 5 水痘

臨床診断名が水痘の2件について検査を行ったところ、2件から水痘帯状疱疹ウイルスが検出された。

## 6 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の1件について検査を行ったところ、アデノウイルスD種64型が検出された。D種64型は流行性角結膜炎の原因となるウイルスである。

